

平成 29 年度熊本県農協青壮年部海外視察研修

JA たまな青壮年部
横島支部 友田 大志

目的

農業・農村を巡る情勢は、農村部では人口減少及び高齢化により、農村の担い手不足は深刻を極め、耕作放棄地は年々拡大する等、農業の維持や集落機能そのものを維持することが困難な地域が増えている。

このような状況の中、EU 主要農業国であるスペインの農業情勢等を視察研修し、国際交流を通して得た知識・体験を JA 青壮年部組織の強化並びに自らの営農に役立てることを目的に実施する。

行先	スペイン（流通事情視察・農家訪問等）
主催	熊本県農協青壮年部協議会
期間	平成30年1月29日～2月4日
日程	1/29 福岡空港～バルセロナ
	1/30 西洋野菜（カルソツ）栽培農家視察
	1/31 アネコープ大規模施設園芸実験農園（トマト）視察 テクノバ園芸資材会社視察
	2/1 カハマール財団実験圃場生物農薬等視察
	2/2 アタラサナス市場視察 円形闘技場見学 JETRO 訪問
	2/3 マドリード市内流通事情視察
	2/4 マドリード～福岡空港



今回1月29日から2月4日までスペインに海外視察研修に行ってきました。研修などで何度か海外には行ってはいたけど今回初めてのスペインと言う事でそれなりに日本で勉強して万全の体制でスペインに向かいました。福岡空港から韓国仁川国際空港を經由してスペインのバルセロナへ片道13時間のフライト。バルセロナに着いたのは夜の20時頃で気温は約13度ほどで日本に比べて少し暖かい感じです。

2日目はバルセロナ郊外にあるカルソツツ（西洋野菜）の視察に行きました。カルソツツとは玉ねぎの一種でネギのような見た目の野菜です。それを焚き火の中に入れ表面上を焼き外の焦げた部分を取り除いて食べるものです。農園のホアンさんの話では8月頃に定植して1つのタマネギから5～10本程度のカルソツツが2月頃にとれると聞きました。



カルソツツ（西洋野菜）



圃場全体

3日目スペイン、アルメリアの荒野をバスで移動して ANECOOP 大規模施設園芸試験場に到着。この試験場ではアルメリアの農協と大学とで新品種や対抗力などをもった野菜を DNA など操作して問題がないかを研究していた。ANECOOP ではトマト、パプリカ、ピーマン、マンゴー、パパイヤ、ドラゴンフルーツ、スターフルーツなどの栽培実験をしていた。

ANECOOP で作られた野菜は市場などに出ることはないのだけれど、この新品種などの研究が終わると1年～2年程度で農家と共同で商品化していつているようだ。スペインではトマト栽培のほとんどが土耕栽培であるのだが土耕の上に粒が荒い山砂を10～15センチほど被せて防草対策と保温効果がしてあった。その他にもココヤシファイバーの栽培、水耕栽培もあるそうだが昔から慣れている土耕栽培をほとんどの農家がしているのが現実だ。トマトの品種はミニトマト、中玉トマト、大玉トマトと幅広く試験している。中には日本ではあまり見ないひょうたん型、緑のトマト、黒いトマトなどもあった。試しにミニトマトと中玉トマトと緑のトマトを食べてみたのだが皮が厚く日本のトマトより酸っぱい感じであった。スペインでは十数年前から緑のトマトが市場で出回り今では何の違和感もなく食べられているそうだ。



(珍しい色のピーマン)

また、ここではアルメリアのハウスの事などを教えてもらった。ラスパ・イ・アマガードという四角いハウスだ。これはアルメリア地方は海と山に囲まれた地域で急な突風が時々吹くという。これに対策されたハウスがラスパ・イ・アマガードだ。天井に網の目のような番線を張りその上にビニールをして、また網の目の番線を張ることによって強度を上げているようだった。また、ほとんどの農家が家族経営で一件あたり1ha～1.5haのハウス経営をしている。その中にはトマトだけではなく、パパイヤ、マンゴー、ブドウなどの農家も多くいろんな物を作っているようだった。

規模が小さい農家が多いため、ANECOOP の存在が農家さんの支えになっているのだと実感した。

4日目はカマハール財団実験農場へ行きました。ここではファンさんが実験農場の説明をしてくださいました。スペインのアルメリアではほとんどのハウスがこの四角いラスパ・イ・アマガードというハウスでした。



ラスパ・イ・アマガード



ハウス内（トマト）

5日目はアトラサナス市場に行きました。ここでは野菜やフルーツ、生肉類、魚類などがありました。日本で見かける野菜もあればヨーロッパなどでしか見られない珍しい野菜もあり、スペインの現地価格などを視察してきました。午後からは首都マドリードへ向かいJETRO 訪問にて農業事情や畜産の講義を受けました。JETRO で働いている加藤さんの話ではスペインの若者の失業率は50%にも上がっている事なども教えてもらいました。



アトラサナス市場

6日目はマドリードを視察して夕方日本へ
今回スペインに視察研修に行かせてもらい日本では見られないような事ばかりでした。普段他の圃場視察に出ることは父に任せていましたが今回このスペイン研修で自分に近い年の人達がいろんな所を見て回っている事を知り自分ももっと積極的に周りを見て見ようと感じた研修でした。これからこの研修を糧により一層日本のこの熊本でいい農業が出来るように頑張ってください。今回は沢山の経験をさせていただきありがとうございます。